



議会たより よつかいどう



発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



主な内容

- 令和6年第3回定例会概要
..... 2~5
- 議決結果一覧 6
- 一般質問・代表質問 7~14
- 委員会視察レポート 15
- 新庁舎議会フロア案内 16

**次回の定例会は
11月25日~12月17日
の予定です**

会期日程案は15ページをご覧ください。
本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。
(生中継と録画中継があります)
市議会ホームページアドレス
<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>

主な議案の概要及び委員会審査概要

第3回（9月）定例会では、令和5年度一般会計・特別会計など6会計の決算に関する議案や、令和6年度一般会計・特別会計補正予算、条例の改正などの議案18件と陳情2件の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。

（議決結果一覧は6ページに掲載）

決算審査特別委員会

議案第11号（第16号は、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し審査を行い、いずれも原案のとおり可決及び認定された。）

質

新型コロナウイルス感染症・物価高騰に関連した市の独自事業をどのように評価しているか。

答

地方創生臨時交付金を活用した市の独自事業の選定にあたっては、国から示された交付要件や推奨事業メニュー等を踏まえ、市長をトップとする「四街道市まち・ひと・しごと創生推進本部」において選定方針を定め、庁内で募集し

た事業の決定を行っている。

令和5年度の独自事業としては、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民の暮らしを守るための支援として4事業、市内事業者の事業やサービス提供継続のための支援として8事業を実施した。

これら合計12事業を実施したことにより、エネルギー・食料品価格等、物価高騰の影響を受けている市民や事業者等の負担軽減に寄与するなど幅広い事業効果をあげることができたものと考えている。

また、本評価については、「四街道市まち・ひと・しごと創生推進本部」で総括を実施した上で、総合計画審議会において報告を行い、交付金の活用事業として適正であったと意見をいた

だいている。



総務常任委員会

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（承認）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ22万円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ376億5154万9千円とするもの。

質

本年7月19日付で提訴された配当異議請求事件に係る訴訟代理委託に要する経費を追加し、結審の年度までの債務負担行為を設定するため、補

正予算を8月6日付けで専決処分したとのことだが、訴訟の概要について詳細な説明を。

答

本件は相続財産の分配に関して原告と原告の妹が争っており、裁判の結果、令和5年12月に相続財産が競売により売却された。

原告は本市が課税している固定資産税を滞納しており、本市は売却額から342万4450円の配当を受け取る予定だったが、課税対象資産に文化財が含まれており、不正な収税であるなどとして、原告から配当異議請求があったものである。

質

文化財が含まれている資産に対する不当な固定資産税の収税であるとの原告の主張に対し市の見解は。

答

文化財に指定された家屋に対しては地方税法の規定により、課税標準額が2分の1となる特例が適用される。

原告が所有している文化財に対して、この特例が適用されており、地方税法に沿った課税として問題はないものと考えている。

議案第7号 令和6年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億3840万6千円を追加し、補正後の予算総額を381億8995万5千円とするもの。

〈総務常任委員会所管事項〉

◆郵送文書管理事業
通信運搬費118万6千円の増額について

質 本年10月1日からの郵便料金の値上げにより、予算額に不足が生じる見込みであるとのことだが、当初予算に反映できなかった理由は。

答 郵便料金が値上げされる旨の情報を得たのは、年明け以降であり、当初予算の編成は昨年末にはすでに行っていたことから、当初予算に組み込むことができなかったため、本補正予算において計上するもの。

◆消防施設等整備事業
消防資料倉庫解体工事3074万5千円の増額について

質 消防資料倉庫の解体工事に要する費用とのことで、解体工事を終えた後の用地の利活用は。

答 消防資料倉庫の跡地利用については、現在、全庁的に検討を行っており、方向性は確定していない状況である。

陳情第5号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書 (採択)

質 陳情書に記載のあるような庁舎内での政党機関紙等の勧誘は、本市において認められているのか。

答 庁舎内における勧誘にあたっては、庁舎管理規則第9条第1項第3号の規定により、庁舎利用許可申請書の提出が必要となる。

これまで同趣旨における許可実績はないが、仮に申請書が提出された場合には、執務時間外に限る等の条件付きになるかとは思いますが、許可することは可能であると考えている。

質 庁舎管理規則上においては、許可がなされた範囲での勧誘は可能であるとのことだが、その他の観点から問題はないか。

答 機関紙等の購入は、個人間の契約であることから、公務員としての良否は判断致しかねる。



都市環境常任委員会

議案第4号 四街道市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

水道料金及び手数料を改定するもの。

質 物価高や光熱費の高騰で市民が苦勞している中、水道事業の将来を考えると維持管理を行っていく上で、料金の値上げはやむを得ないとは思われるが、せめて時期をもう少しずらすなど、市民に寄り添い柔軟に対応していくことは考えられなかったか。

答 物価が高騰していく中で、市民生活が苦しい状況であることは認識しているが、同様に水道事業でも資金が減り続け、老朽化施設も増えていく状況から、今回の水道料金改定を行わずに改定時期を遅らせた場合には、更に改定率を上昇させなくてはならなくなるため、今回改定を提案させていただいている。

質 今後、霞ヶ浦導水が完成定井戸が削減され表流水が入ってくる上、老朽化対策も必要であり、値上げは仕方がないかもしれないが、果たして経営努力はしっかり行ってきたのかという意見もあるが、その点についてはどうか。

答 経営の取り組みとしては、浄水場の運転管理を包括的な委託に変更するとともに、

公的補償金免除の繰上償還を一括で行い、年間の支払い利息を削減させている。

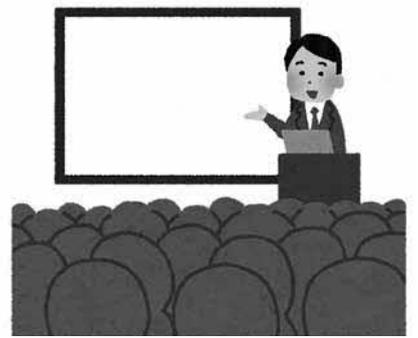
また、平成29年度に水道事業と下水道事業の組織を統合し、職員数を4名減らし人件費を削減している。

質 市民説明会の実施や市政だより、ホームページ

での周知により、市民の理解は得られたということで判断しているか。

答 説明会に参加いただいた

市民からの主な意見としては、暫定井戸の継続利用や地盤沈下に関するものが多数を占めており、料金が低い、低いといったような質問は少数であったことから、概ね理解を得られたのではないかと考えている。



議案第5号 四街道市下水道条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

手数料を改定するもの。

質 手数料の額を現在の経費に見合ったものに改定するということが、計画

確認と工事完成検査を受けるときに3千円、指定工事店の指定を申請するときの1万2千円の積算方法は。

答 手数料の額の設定について

は、職員の平均給与額の時間単価に、当該事務にかかっている時間をかけ、その他、消耗品等の物件費等を考慮し積み上げ、それぞれ3千円、1万2千円という金額を算出している。

議案第7号 令和6年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

〈都市環境常任委員会所管事項〉

◆次期ごみ処理施設整備事業
消耗品費119万3千円の増額について

質 排水作業のための送水ホース等の購入費用と

のことだが、詳細な説明を。

答 国道51号側の暫定ため池の排水用に50メートル

のホースを6本と車両がホースを跨ぐためのホースブリッジを8個購入するための費用である。

◆交通安全施設保守・整備事業
交通安全施設整備工事923万4千円の増額について

質 もねの里6丁目地先の信号機設置に伴う路面

標示等の整備を行う費用も含まれているとのことだが、横断歩道の設置費用は県警が負担すべきなのではないか。

答 横断歩道は、本来、交通

管理者である県警が設置するものであるが、今回は、

早期の信号機設置に繋がるということから、あくまで特例というところで四街道警察署との協議が整い、補正予算を計上したところである。



◆緑化推進事業

施設等維持工事308万円の増額について

質 たるやまの郷に設置したバイオトイレ処理槽

の改修に要する費用とのことだが、特定財源について説明を。

答 バイオトイレの修繕費用については、花と緑の

基金を活用する予定である。



教育民生常任委員会

議案第2号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について (可決)

質 高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正するため、関係地方公共団体と協議するもの。

答 マイナンバーカードと被保険者証との一体化に伴う規約の改正とのことだが、市民への周知や、資格確認書の発行に係る窓口対応の課題について、市としてどのように認識しているか。

質 周知については、7月に被保険者証の更新を行った際にリーフレットを同封し、周知を図っている。

答 また、資格確認書の発行に関して、基本的には、マイナ保険証の登録をされていない方に対して、市から自動的に資格確認書を交付することになる。

交付にあたっては、被保険者証の更新と同様に行うことを予定しているもので、大きな混乱はないものと考えている。

議案第6号 四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

質 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

答 附則に経過措置を規定しているが、どのような理由から経過措置を設けているのか。

質 改正により保育士1人あたりの児童数が減ることになるが、これによりクラス数が増えることなども考えられ、急な変更により困難な状況が発生する可能性も想定される。このような改正の影響を考慮して、経過措置を設けている。

議案第7号 令和6年度四街道市一般会計補正予算(第3号) (可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉

◆児童遊園管理事業
児童遊園看板撤去等工事101万6千円の増額について

質 小名木と亀崎の児童遊園の看板撤去工事等を行うとのことだが、詳細について説明を。

答 市内に9か所ある児童遊園のうち、小名木と亀崎の2か所について、自治会の方々にご協力いただき、管理等をお願ひしているが、利用状況や設備の老朽化等を鑑み、廃止する方向で令和5年度中に自治会へ説明を行った。

質 自治会の方々からもご了解をいただいたので、令和6年度中に廃止する方針で話を進めさせていたかどうか。

答 このため、児童遊園にある老朽化により使用されていないベンチや看板の撤去を行い、また、小名木児童遊園については、壊れたブロック塀の補修をあわせ

て行うなどの工事請負費として計上するものである。

◆学校情報機器維持管理事業
1683万円の増額について

質 GIGAスクールに係るネットワークアクセスメントの実施に要する経費で、経費の3分の1について国からの補助があるとのことだが、財源内訳の詳細について説明を。

答 歳入補正予算の公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金796万7千円の内訳に関して、GIGAスクール運営支援センター整備事業に係るものが235万7千円、ネットワークアクセスメント実施促進事業に係るものが561万円となっている。

質 また、歳入補正予算の学校情報機器維持管理事業について、こちらはネットワークアクセスメント委託料1683万円を計上するものであるが、当該金額の3分の1、つまり561万円についてネットワークアクセスメント実施促進事業に係る経費として国庫補助金を充てるものである。

令和6年第3回（9月）定例会議決結果一覧

本会議と委員会のいずれにおいても、出席した全議員が賛成した議案
 （委員会審査を省略した議案等を含む）

※議長は本会議の採決に、委員長は委員会の採決には加わりません

議案	第1号	専決処分の承認を求めることについて	議案	第8号	令和6年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	第2号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について		第9号	令和6年度四街道市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第3号	四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		第10号	令和6年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	第5号	四街道市下水道条例の一部を改正する条例の制定について		第13号	令和5年度四街道市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	第6号	四街道市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		第15号	令和5年度四街道市水道事業会計決算の認定について
	第7号	令和6年度四街道市一般会計補正予算（第3号）		第17号	四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
				第18号	教育委員会委員の任命について

本会議において賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 ■ 議長は、本会議の採決には加わりません				結果	芝崎剛介	石井幸夫	ふじわらちかこ	六田喜彦	大谷満子	阿部百合子	宮城そういち	飯豊明久	保坂康平	岸本潤一郎	田中徳彦	成田芳律	長谷川清和	森本次郎	大越登美子	坂本弘毅	関根登志夫	西塚義尊	戸田由紀子	石山健作
議案	第4号	四街道市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（賛成多数）		○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	第11号	令和5年度四街道市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	第12号	令和5年度四街道市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	第14号	令和5年度四街道市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
陳情	第4号	「国の責任で小・中学校の学校給費完全無償化を求める意見書」提出の陳情	不採択（賛成少数）		×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		×	×	×
	第5号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書	採択（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○

委員会において賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ■ 委員長は、委員会の採決には加わりません				付託委員会結果	芝崎剛介	石井幸夫	ふじわらちかこ	六田喜彦	大谷満子	阿部百合子	宮城そういち	飯豊明久	保坂康平	岸本潤一郎	田中徳彦	成田芳律	長谷川清和	森本次郎	大越登美子	坂本弘毅	関根登志夫	西塚義尊	戸田由紀子	石山健作
議案	第4号	四街道市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	都市環境原案可決（賛成多数）		-	○	-	-	-	×	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-		-	-	-
	第11号	令和5年度四街道市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	第12号	令和5年度四街道市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	第14号	令和5年度四街道市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	第16号	令和5年度四街道市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算審査原案可決及び認定（賛成多数）		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
陳情	第4号	「国の責任で小・中学校の学校給費完全無償化を求める意見書」提出の陳情	教育民生不採択（賛成少数）		-	-	○	×	×	-	×	欠	-	-	-	×	-	-	-			-	-	

一般質問・代表質問

第3回（9月）定例会では9月5日、6日、9日～11日の5日間、2会派による代表質問及び11人の議員による一般質問が行われました。

詳しくは、市立図書館、市役所本館1号棟（新築棟）3階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索（第3回定例会分は11月下旬公開予定）でご覧いただけます。



未来を守る・いのちをつなぐ

いぶき 飯豊 明久

こどもの命を守る

問 日本版DBSが制定された。こどもを性暴力被害から守るための取り組みについて伺う。

答 性的虐待は、虐待を受けている子どもの精神面や生活環境など、とても繊細な面が多く、接するうえで専門的な取り扱が必要となるため、児童相談所などの関係機関へ繋いでいる。そのため、そのような環境下にいる子どもからのSOSを見逃さない「気づき」が重要であることから、小中学校や警察、児童関連施設などの職員向けにスキルアップのための研修を実施している。今後においても、早期発見に向け、各関係機関と連携し必要な支援に繋げていく。

問 水道料金の改定について

答 料金の改定説明会において、参加者からの質問

を受けての印象について伺う。

答 説明会に出席いただいた方からの質問や意見の多くが地下水の利用及び地盤沈下に関するもので、料金改定に関する質問はわずかであったことから、料金改定については、概ね受け入れていただけたものと考えている。

働く者の

守られるべき権利について

問 内部通報者制度を利用した通報は降格、不当な人事を受けず、身分を守られるのか伺う。

答 公益通報において、通報者は、正当な通報をしたことよっていかなる不利益な取り扱いも受けないこととなつているため、通報者は、降格、不当な人事異動を受けず、身分は守られる。

水道料金の改定について

問 料金の改定説明会において、参加者からの質問

を受けて、参加者からの質問



市債管理や基金運用で
すこやかな財政運営を

チャレンジみらい 六田 喜彦

問

本市の市債残高は2百億円超で、毎年度償還と新規借入がある。現在の金利では新規借入の金利は上昇することとなるが、市の見解を伺う。

答

金利上昇による利子負担を軽減するためには、市債残高を低い水準で維持する必要がある。本市の令和4年度の実質公債費比率は1・6%と類似団体の平均値である5・6%を大きく下回っており、市債残高は低い水準を維持している。今後も、大型事業の実施に当たっては、国・県の補助制度及び交付税措置のある起債を最大限活用することにより、引き続き、後年度の財政負担の軽減に努めていく。

問

本市の基金残高は百億円超があるが、その基金運用の新たな取り組みについて

答

本市では、総合計画の基本構想「幸せつなぐ未来への道しるべ」の実現に向けて、SDGsへの取り組みを推進していることから、基金の運用においてもSDGsへの取り組みの一つとして、令和6年度から新たに、グリーンボンドやソーシャルボンド、サステイナビリティボンドといったSDGs債を活用し、持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいる。

問

市内公共施設での介助用ベッド（ユニバーサルシート）設置の状況を伺う。

答

市内公共施設での介助用ベッドの設置状況は、栗山小学校に1台の設置があり、新庁舎において1台設置することとなっている。



今後の取り組みについて

公明党 田中 徳彦

問

今年の12月2日から従来の健康保険証は新規発行されなくなり、その後はマイナンバーカードでの保険利用を基本とする仕組みに移行するが、現状のマイナ保険登録状況を伺う。

答

厚生労働省からの情報提供によると、本市における、令和6年6月現在で、国民健康保険の加入者数1万6903人のうち9493人、約56%が登録している。

問

本市では危機管理室に女性職員が配置されていない理由を伺う。

答

現在、危機管理室の職員7名は全て男性であるが、災害時には勤務が早朝・深夜に及び、更には宿泊での

問

対応も必要となることから、現状が最低限の体制であると考えている。

答

しかし、事前の災害対策、発災後の対応において女性の視点が重要であることから、危機管理室職員の増員として女性職員の配置について要望していく。

問

自転車ヘルメット購入の補助金を市で対応していただけるか伺う。

答

自転車用ヘルメットの購入費補助については、総合計画において児童生徒を対象とした補助が計画されており、また、本年度に県において補助事業が開始されたことから、本議会において補正予算案を提出している。

答

予算成立後速やかに小中学生を対象に補助事業を開始し、ヘルメット着用率の向上に努める。



全ての人に選ばれる街に

無会派 森本 次郎

問 介護保険の手続き、利用について実際に手続きを行う当事者の子ども世代にわかりやすい情報提供、利用体制を構築できないか。

答 そういったことができるように、今後考えていきたい。

問 文化センター改修については、市民会議における市民の要望は反映されるか。

答 第1回市民会議を8月に開催し、改修工事の配置計画、平面計画などについて議論を行った。今後、市民会議に基づく市民意見については、財政面など様々な検討を行いつながり、可能な限り反映していく。



問 企業誘致については、成田空港との連携が肝要であり、現在の空港圏の9市町の枠組みを本市も加え拡大できないか。

答 成田空港の機能強化は、本市にとっても県にとっても大きなチャンスであると考えられる。現在、空港圏の枠組みに、本市は含まれていないが、印旛の市町と連携して、枠組みに加えてもらえるよう要望している。また、関連施設や関連企業などの進出により、多くの雇用が生まれることから、本市にできることをしっかりと県に働きかけていく。



高齢化社会の防災・自治会強化と新農業活性化策

チャレンジみらい 岸本 潤一郎

問 能登、宮崎と大地震が続く中、高齢者による高齢者の共助避難という高齢化社会を前提とした現実的な災害避難の強化策を伺う。

答 特に震災発生時の避難は、区・自治会等を中心とした共助の力が非常に重要であると認識しており、これまで、区・自治会等を対象とした防災セミナー、出前講座、ホームページ等を通じ、啓発を続けているが、今後も防災訓練の手法についての相談や訓練における指導の場を通じ、避難対策の重要性についての助言を継続していく。

答 年齢層や世帯数等、自治会ごとの状況に応じた対応策を検討することは必要と考える。

問 耕作放棄地を減らし、農業・経済活性化、市の財政強化につなげるための農業経営への企業の経営ノウハウ導入による市農業の活性化策について伺う。

答 県や県農業会議及びJAグループ千葉等が協同で設置している「千葉県農業者総合支援センター」において、販路拡大や新規雇用、企業参入をはじめ、農業経営の法人化についてもワンフロア・ワンストップで対応している。市としても、同センターの事業内容をもとに、同センターと連携して農家からの相談に対応していく。

問 災害時に共助の要となる自治会の加入率低下は深刻である。高齢化社会の地域防災力維持のための加入率向上策の検討の必要を伺う。



猛暑から市民のいのちと暮らしを守る

無党派 阿部 百合子

問 高齢者・障がい者・低所得世帯、ひとり親世帯を対象としたエアコンの購入・設置・修理費用への補助制度創設を考えていないか。

うになった際は廃止すること
を県に求められている状況で
あることを説明している。

答 既に物価高騰対策として国の地方創生臨時交付金を活用した低所得世帯に対する補助が実施されていることから、市独自の新たな補助制度の創設については、現在のところ考えていない。



問 水道料金値上げの説明で、安くておいしい水を維持するという大きい視点での説明をなぜしないのか、お聞きする。

市教育委員会では、現在、運営している校内教育支援センターと「ルームよつば」の支援体制の整備と充実に向けており、不登校児童生徒の保護者及びフリースクールに関する市からの財政支援は、現在のところ考えてはいない。

答 本市が水源とする19本の井戸のうち9本は、千葉県環境保全条例により地下水採取規制後に暫定水源として利用が認められたもので、他の水源を利用できるよ

問 不登校児童・生徒への、学ぶ機会の補償として、フリースクールの助成など、市として何らかの支援は考えられないか。

市教育委員会では、現在策定中のこども計画における子どもの意見聴取の中に、子どもの権利や人権という言葉で意見があるなど、子ども達の意識に変化があるものと推察される。

答 事例として、市長自ら実施している、小中学生ランチトーク、保育園やこどもルームへの訪問、また、高校生の政策コンテスト「よ



こどもまんなか社会へ

公明党 西塚 義尊

問 「四街道市みんなが笑顔のまち子ども条例」制定後の市の子ども向けの取り組みにどのような変化があるのか伺う。

「四街道市子どもホームページ」を開設して子どもの目線に立った取り組みの実現を目指すべきと考えるが市の見解を伺う。

答 子ども条例について、市政だよりやホームページにおける広報や、市内中学一年生を対象に学習冊子を配布するなど、周知を行うことで、

子ども向けのキッズページは、閲覧数が非常に少なく、公開を停止した経緯がある。当時と比べ、小学生など子どものインターネット利用も増えていると思われるので、閲覧状況、コンテンツの内容や運用方法などについて、近隣他市の状況を研究する。

子ども条例について、市政だよりやホームページにおける広報や、市内中学一年生を対象に学習冊子を配布するなど、周知を行うことで、

子ども向けのキッズページは、閲覧数が非常に少なく、公開を停止した経緯がある。当時と比べ、小学生など子どものインターネット利用も増えていると思われるので、閲覧状況、コンテンツの内容や運用方法などについて、近隣他市の状況を研究する。



物井駅東口・生活保護・動物愛護について

政まつりごと 宮城 そういち

問 みそら山梨方面から物井駅東口へのアクセスについて現状を伺う。

答 令和4年度から物井駅東口アクセス道路予備設計を行っており、地元説明会やパブリックコメントを実施し、最終ルート案を決定した。現在は、設計に係る測量を実施しているところである。

問 災害時に飼い主とペットと一緒に避難できる避難所の提供について現状と今後の予定を伺う。

答 現代社会においては、ペットも家族の一員として認知されていることから、ペット同伴避難所の開設に向け、昨年度から調整を行い、8月の台風7号の際には、2か所開設した。

問 他自治体で多発している精神障害の障害者加算支給ミスについて、本市で調査をして支給ミスがあった場合、生活保護者に過失がない点から、自立更生の免除をする検討を行っているか伺う。

答 過去、当該事由での自立更生の認定について、検討した事例はない。

今後、ペット同伴避難所の確保・増設に向けて、調整を図っていく。



暮らしやすい四街道市のために 将来の備えを！



公明党 大谷 満子

問 65歳以上の方が将来の不安や生活の悩みを相談できる地域包括支援センターが、どのような広報を行っているか伺う。

答 高齢者の相談窓口として、生活に関すること、介護・健康・福祉サービス、認知症に関することなどの相談ができることをお知らせしている。発信方法は、市政だよりやホームページのほか、民生委員などの関係者への周知も行っている。

台数の整備では、災害時の対応に不足が生じるため、「災害派遣トイレネットワーク」に参加するなどにより、被災していない自治体から被災した自治体への派遣といった相互支援が必要となる。今後も災害派遣ネットワーク加盟団体の活動状況や他自治体の購入状況を注視していく。

問 大きな災害時に綺麗なトイレを使用するためトイレトレーラーを、市がクラウドファンディングを使い購入が可能か伺う。

問 将来的に公共施設や小中学校にも設置していただきたいが、節水のためのトイレ用擬音装置の庁舎における設置状況について伺う。

答 他市におけるトイレトレーラーのクラウドファンディングによる整備については承知している。少ない購入が可能か伺う。

答 現在、本庁舎および第二庁舎には、トイレ用擬音装置を設置していないが、新庁舎においては、男性用、女性用トイレともに擬音装置を設置している。また、現庁舎の新館は今後、改修工事を進める中で、設置していく。



身近な自然を守る街へ

いづき 大越 登美子

問 森林環境譲与税を活用した行政としての支援体制の現状と見通しについて伺う。

答 森林環境譲与税は、森林の下刈り・枝打ち・間伐などの森林整備に対する補助金の交付や森林ボランティア養成講座に要する費用に活用している。今後は、隣接する自治体と連携し、森林整備を進めるための取り組みも検討するとともに、四街道市森林協議会と協力して、より有効な利用ができるよう協議を進めていく。

問 四街道市森林協議会においてどのようなことが協議されているか伺う。

答 本市の森林所有者が抱える問題を解決するため、森林所有者の立場から、これからの森林に関する施策

のあり方や、森林の適切な維持・管理に関する見識や技術の向上を図る研修内容の検討、市の補助金を活用した森林の保全活動等について協議している。

問 災害にも強い森づくりを進めるにあたり、森林整備は重要である。森林所有者の意向や現状を知ることが何よりも大切と思うが、森林保全について市の見解を伺う。

答 防災の観点からも、森林の安全な管理は重要で、豊かな緑を守ることは市としても重要な課題として認識している。限られた財源の中ではあるが、森林の安全な保全や住みやすい緑豊かな市を守っていくために必要な事業の実施を検討していく。



大規模災害に備えて

チャレンジみらい 坂本 弘毅

問 防災ハザードマップの見直し状況と今後市民への積極的な周知をどのように行っていくか。

答 防災ハザードマップについては、県により本年度、新たに25か所の土砂災害警戒区域等が指定される予定となっており、その時期に合わせて、新たに作成し、市内全戸に配布する予定である。

なお、転入者に対しては、これまでどおり転入手続きの際に配布する。

問 土砂災害警戒区域の指定に向けて県との連携は図られているか。

答 県から示される指定までのスケジュールの進捗の確認や指定のための基礎調査候補地に関する情報提供などを適時行っていることから、県との連携は図られている。

るものと認識している。
問 災害時における関係機関との連携強化体制の構築は図られているか。

答 毎年、全ての協定事業を取り、また、指定避難所、福祉避難所、JR四街道駅、四街道警察署及び市内の4病院に配備する移動系無線による通信訓練を実施するなど、災害時に確実に連絡できる体制を構築している。

また、この度の台風7号の対応についても、災害対策本部設置の前日から自衛隊、東京電力、NTT東日本等関係する機関に相互の体制や連携の確認のための連絡を取るなどしたことから、災害時の連携体制、協力体制の構築がなされているものと考えている。



需要や実情を分析した市政運営

代表質問者 成田 芳律

新政

成田 芳律・長谷川 清和
戸田 由紀子・石山 健作

(仮称) 四街道市子育て応援交流事業

問 本市の子育てに関し、生の情報交換ができる環境整備として、バザー等の情報を取りまとめて情報提供することについて伺う。

答 当該活動については、リサイクルや市民活動など、様々な観点からアプローチできると思われるが、子育て支援分野として、各団体から活動内容の情報を提供いただき、児童関連施設や子育て世帯が手続等で来庁される窓口などにおいて、周知できるよう努める。

JR四街道駅前喫煙所撤去

問 駅前喫煙所がなくなるとポイ捨てや歩行喫煙が増え、かえって非喫煙者の利用者や近隣住民に対して受動喫煙が増えるリスクと景観を損なう可能性があるが、近隣自治会に對して説明をしたか伺う。

答 10月からの全面禁煙に際し、ポイ捨てや歩行喫煙に対する指導日数を増やし、対策を強化していく。
市民に対しては、既に四街道駅北口・南口喫煙所への掲示を行っており、また、市政だより9月15日号で周知を図っている。



第33回四街道ふるさとまつり

問 スカイランタンや花火、また輪踊りのアンコールが出た今回の第33回四街道ふるさとまつりについて、どのように評価しているか伺う。

答 8月24・25日の両日、多くの出演者、出店者等のご協力、個人・事業者様からの協賛金やチャリティーTシャツのご購入、協力団体の見回り警備、四街道警察署のご支援、実行委員長はじめ実行委員会の皆様のご尽力により、盛会に終えることができた。

今年、PR大使の世古乙羽さんに歌をご披露いただいた。更に、人気テレビ番組の収録もあり、その場に偶然居合わせた方は大変喜ばれていた。収録の対象となるイベントに選ばれたことは、本市の知名度の向上につながるものと喜んでい

地域生活支援拠点整備

問 地域生活支援拠点整備に向けて、拠点コーディネーターについての考えを伺う。

答 現在、緊急時の対応等を行う拠点コーディネーターの役割は、基幹相談支援センターの職員が担っているが、将来的には地域生活支援拠点等の充実に向け、相談支援事業所等においても、配置について検討していただく必要があると考えている。





レジリエンス社会に向けて

代表質問者 石井 幸夫

新時代

保坂 康平・石井 幸夫
ふじわら ちかこ

〔自治会〕住民同士の絆を大切に

問

地域コミュニティにおいて中心な役割を果たしている自治会は、加入率の低下や担い手不足により変化する地域社会のニーズに十分応えられない可能性があるが、原因と対応策について伺う。

答

主たる原因は、生活様式の多様化により、区・自治会の必要性に対する認識が薄まってきていることや、高齢化、共働き家庭の増加、役員の輪番制の負担等が考えられる。対応策は、年齢層や世帯数等、各区・自治会ごとに状況が異なるため、窓口での手続き等の際に積

極的なコミュニケーションをとり、それぞれの現状に応じた支援を行っていく。

都市インフラ

事前予防でコストダウン

問

道路及び橋の管理方法とAIを利用した補修費低減策について伺う。

答

管理方法について、道路はパトロールや通報等により現状を確認し、職員による補修や工事対応をしており、橋梁は5年に1度の法定点検により橋の健全度を診断し、必要に応じ補修等を行っている。

AIの活用については、現在の「四街道市舗装長寿命化修繕計画」は、計画期間が令和7年度末であり、令和8年度からの新たな長寿命化計画の策定時には、AI解析等の新技術を活用し経費削減に努める。

全国学力・学習調査

問

全国学力・学習調査が全国平均に比べて低下していることに保護者の心配の声が寄せられている。原因調査の必要性をどう考えるか。

答

全国学力・学習状況調査の結果が低下している理由については、学校や家庭の環境の変化や教員の多忙化等、様々な要因が関係していることが推測され、理由の特定は難しいと考える。市教育委員会では、今後、市校長会と連携して「学力向上推進委員会」を組織し、市内全体の学力の状況について改めて考察するとともに、向上に向けての方策を進めていく予定である。



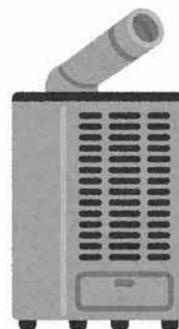
暑さ対策

問

学校の体育館にエアコン設置はされているか。また今後の設置予定を伺う。

答

各学校の体育館に、エアコンは設置していないが、大型冷風扇、スポットクーラーを設置し対応している。現状では、児童生徒増に伴う普通教室や特別教室へのエアコンの設置、老朽化した学校施設の改修を優先して進めており、体育館への導入については、他の施設整備と調整しながら検討していく。



委員会視察レポート

議会運営委員会

日程 令和6年10月8日

視察先 東京都墨田区

視察内容 墨田区議会は、開かれた議会・議論の活性化を目指して議会改革に取り組んでいます。

議会運営委員会では、本市議会でもこうした先進的な取り組みを詳しく勉強することで、より活発な議会運営に生かしていきたいと考え、今回の視察に至りました。

- ・オンラインでの委員会参加
- ・議場外での委員会開催
- ・区民との意見交換会
- ・議員同士の討議、合意形成を市執行部に報告
- ・特別委員会の積極的な活用
- ・議会の会期を設けない通年議会

といった取り組みを詳しく説明していただきました。

議会運営委員会からは、それぞれ導入にあたっての問題点を

ど、活発な質疑がなされました。その後は、実際のオンラインの委員会での様子を見せていただき、運用にあたっての問題点など具体的にイメージしました。

議会改革についてさまざまな手法を学びましたが、最も印象に残ったのは、墨田区議会議員の開かれた議会、議論の活性化を目指して、粘り強く交渉していく姿勢、そしてよりよい議会を目指していく情熱です。どんなに良い試みでも、情熱がなければ、意義のあるものにはなりません。我々四街道市議会議会運営委員会も、情熱をもって、よりよい議会のあり方を目指してまいります。

(委員長 石山 健作記)



12月定例会 会期日程案のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25 本会議 開会	26	27	28 本会議 議案審議	29 都市環境 常任委員会	30
12/1	2 教育民生 常任委員会	3 総務 常任委員会	4 本会議	5 本会議	6 本会議	7
			一般質問			
8	9 本会議	10 本会議	11 本会議	12 本会議	13	14
	一般質問					
15	16	17 本会議 議案総括審議 閉会	18	19	20	21

本会議の開会は午後1時(予定)です。傍聴は開会30分前から受付をしています。
※会期日程等は変更になる場合がありますので、市議会ホームページをご覧ください。

TEL043-421-6152 (直)

編集後記

本市議会9月定例会も終了し、身近な議会の広報ツール「議会だより」を皆様にお届けいたします。掲載させていただいている議決議案等は、いずれも市民生活に直結する極めて大事なものです。

さて、令和6年10月から新庁舎がスタートします。まさに本

市にとって心機一転の年。ぜひ新庁舎での本会議、各常任委員会等にもお気軽にお越しください。お待ちいたしております。これからも市民の皆様にごだけ見やすく、分かりやすい紙面をめざして議会の発信に努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。

(宮城 そういち記)

新庁舎議会フロア案内

10月15日の新庁舎開庁により議場が新しくなりました。ぜひ議会の傍聴にお越しください！！



議場



傍聴席

議会フロア図



車いす席



親子席



傍聴ロビー

車いす席と特別傍聴席（親子席）が新設されました！

モニターに議場内の映像が表示されます！

傍聴を希望する場合は傍聴希望日当日に本館1号棟(新築棟)4階の傍聴受付で受付簿に住所・氏名・年齢をご記入ください。※傍聴席定員34名(うち車いす席2名、特別傍聴席(親子席)4名) 傍聴受付開始は会議開会30分前からとなります。詳細は市ホームページをご覧ください。